

協議会だより

〒754-0897 山口市嘉川4651-1 山口市嘉川地域交流センター TEL：083-989-3956

行事に参加して元気をもらいましょう

◎協議会長 松崎 恒雄

6月16日(土)に嘉川自治連合会(嘉川地域づくり協議会)の主催で、東本郷の休耕田約一反(10a)にコスモスの苗を植えました。この目的は、東本郷、西本郷、出葉^{ゆずは}にかけて美しいコスモスの花を咲かせ、秋にコスモスウォーキングをしようと計画しているからです。当日は地元の人



やボランティアが約45名集まり、ワイワイ、ガヤガヤ楽しい話をしながら作業に精を出しました。終了後は嘉川食生活改善推進協議会の方々に作っていただいた「おにぎり」や「海苔なべ」、地元の人が出された「つけもの」、棟久所長自ら腕を振るつての「ポテトチップス」「コーヒー」等々のおいしかったこと、とてもいい気持ちになりました。コスモスの成長と秋のウォーキングが今から楽しみです。

6月17日(日)には、嘉川まちづくり委員会による恒例の嘉川のおいしいお酒「嘉穂の郷^{かほのさと}」になるお米の田植えが今井の河端さん所有の水田で行われました。当日は小さい子どもからお年寄りまで、さらに外国の人も含め約120名もの参加がありました。はしやぎながら田植えをしている子どもの表情を見ると、ほほ笑ましく元気をもらいました。田植え終了後「あゆのつかみ取り」がありました。参加して面白く、見て楽しい和やかな時間でした。秋には「稲刈り」があり、3月にはおいしいお酒「嘉穂の郷」となって新酒の発表会もあります。これも楽しみです。多くの人に参加して欲しいと願っています。



コスモス苗の植付け(東本郷)

嘉川には自治連合会や各種団体、趣味同好会の行事がたくさんあります。家に閉じこもらず家を出て進んで参加し、多くの人から生きる元気をたくさんもらい、人にもあげましょう。

ホームページをご活用下さい

嘉川自治連合会では、嘉川地域の活動や魅力など広く知っていただくために、「嘉川自治連合会公式ホームページ」を開設し、毎月の行事など地域の情報を発信しています。

下記のアドレスまたQRコードを読み取っていただければ、スマートフォンなどでもご覧いただけます。ぜひアクセスしてください。



<http://www.kagawaj.com>

情報を発信し 活動する嘉川のまちづくり

平成30年度事業計画方針

嘉川の現状、嘉川の課題、嘉川の発展について多くの人の意見を集約し、少しでも解決し、前に進むよう各種の事業を行います。

- 1 安心して安全に暮らせる嘉川
 - あいさつ運動 ○見守り活動
 - 防災学習、防災組織、防災訓練
 - 活力があり発展する嘉川
- 2 人口の増加(土地の有効活用、下水道の整備、住宅建設)
 - 働く場所(企業誘致)
 - 特産物の開発、販売(嘉穂の郷、海苔鍋いちご) ○挑戦者の理解と支援(果樹、薬草、無農薬栽培)
- 3 行事で盛り上がる嘉川
 - 体育祭 ○文化祭 ○子どもみこし
 - 三世代交流ふれあいウォーキング
- 4 情報を発信する嘉川
 - ホームページ ○地域づくりだより
 - 地域交流センターだより

防災体制の強化と 学習に取り組みます

◎自治部会長 竹本 憲治郎

1 防災は、自分の命は自分で守るが基本ですが、自分たちの地区は自分たちで守るという連

帯意識のもとに、防災活動を進めることも必要とされています。

嘉川地区の状況は、高齢化が進み、要配慮者も次第が増えてきています。また、核家族化など社会構造も変化しつつあります。

そこで、本年度、嘉川地区の各種団体組織(地区コミュニティ)による防災活動体制を整備し、平常時や災害発生時等における防災活動事項やそれぞれの組織の役割、分担などを取り決めた**嘉川地区防災計画**を策定することにしました。

すでに、本年5月31日に第一回嘉川地区防災計画検討協議会を開催したところですが、これから地区内の関係組織によるワークショップ等を開催し、多くの意見を取り入れ、できるだけ実行可能な地区防災計画を立て、組織体制を整備したいと考えております。

2 子どもは、未来の地域防災の担い手であり、



これからの生き抜くためにも防災学習は極めて大切で、それはまた、家庭の防災力強化にもつながるものです。
このため、本年度も防災学習に取り組みます。

・嘉川、興進小学校、川西中学校で地域住民も参加した防災学習を行います。

・小学生は、4年生を対象に、絵本や紙芝居を使つての啓発や地図を見て図上訓練を行います。

・中学生は、1、2年生を対象に、防災の講習や実地訓練を行います。

山口市歴史文化 基本構想について

◎社会部会長 伊藤 篤紀

1 山口市では平成29年度から3ヶ年計画で市内の歴史文化の把握調査を行い、後の世代へと継承するとともに、これらをまちづくりに積極的に活用するために、その保存・活用のマスタープランとなる歴史文化基本構想を策定することとしています。

2 嘉川では、自治連合会(社会部会)が協力することになり、現存する多くの書籍・文献等を参考に、市が指定する調査カードに文化財の項目(種別、名称、所在地、形態、規模、材質、特徴などの項目)を現地で再調査・確認する作業を実施しています。その折は関係自治会等の立会をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。

この作業は大変ですが、我がふるさと嘉川の貴重な歴史文化を史実に基づいて後世に継承して行くことは、現在に生きる我々の責務で

あり、このことをいかした地域づくりをしたいと切に願っています。引き続き嘉川の文化財の洗い出しに努めたいと思っています。外に今年度の社会部会の事業計画は次のとおりです。

- 3 あいさつ運動の推進
- 4 花いっぱい運動の推進
- 5 文化財の標柱保存と周辺の環境整備
- 6 文化祭「嘉川総踊り」の支援
- 7 広報誌「嘉川地域づくり協議会だより」の発行

住みよい 地域環境づくりのために

◎建設振興部会長 長掛 実

嘉川地域の安心・安全で住みよい環境づくりのために、次の事業を行っています。

まず、身近な市道で改良が必要な箇所があれば、地元自治会の要望により市へ要望し事業を推進しています。今年度は引き続き、唐樋原条西線の拡幅改良工事を行っています。

要望箇所が多く市の限られた予算の中での事業化ですので、地域や道路の状況に応じた緊急性を考慮しながら、市へ要望を行っています。用地の提供等、地元の協力が必要ですのでよろしくお願ひします。

また、市道の他に里道や水路（法定外公共物等）についても、地元からの要望で、改良や補修を行っています。これは嘉川地域づくり協議会への交付金予算を活用していますが、昨年度は、要望箇所が少なかったため、残念ながら予算を返還しました。

嘉川地域には、生活に支障をきたす道路や水

路が各地で見受けられます。どんなことでも困ったことがあれば、先ず交流センターへご相談をいただき、建設振興部会とともに問題の解決及び事業化へと努力して参りましょう。

もっと延ばそう健康寿命

◎健康福祉部会長 原田 幸政

健康寿命とは、寝たきりにならず、人の助けや介護を必要としないで、自分の力で生活できる期間をいいます。

平均寿命、健康寿命ともに日本はトップレベルですが、平均寿命－健康寿命の差をできるだけ少なくすることが、これからの課題です。差が拡大すれば医療費、介護費等がかさみ、社会的負担とまた家庭への経済的負担や介護等の負担がかかってきます。

誰もが最後まで健康で元気に、いきいきと生活したいと願っていると思います。

健康福祉部では皆さん方のその願いを微力ながら、応援できたと今年度も事業計画をたてました。

◎ 自分にあった趣味や同好会に参加してみましよう。（嘉川地区趣味同好会紹介誌）

◎ 地域のボランティア

	2001年 (男)	2001年 (女)	2016年 (男)	2016年 (女)
平均寿命 (才)	78.07	84.93	80.98	87.14
健康寿命 (才)	69.40	72.65	72.14	74.79
平均寿命－健康寿命	8.67	12.28	8.84	12.35

(厚生労働省資料に基づく)

ア活動や、いきいきサロンに参加してみましよう。

(嘉川地区福祉・ボランティア団体紹介誌)

◎ スポーツ行事やラジオ体操、ウォーキング等により体力をつけましよう。(嘉川グラウンドゴルフ大会・嘉川元気あつぷチャレンジ)

◎ 身も心も健康な日常生活をおくりましよう。(血圧や尿検査・健康相談を年3地区で実施)

嘉川子どもみこしの 正式組織化について

◎生活環境部会長 末岡 茂美

「嘉川まちづくり」の一つとして始めた嘉川子どもみこしは、今年で3年目になります。初年度、2年目も「TYS・ケーブルテレビ」及び「山口新聞」に取り上げられました。

元気にみこしを担ぐ子ども達、サポートする保護者、治道で頑張れと声を出し、拍手で応援されるお年寄りまで、嘉川の大きな行事となりました。100年計画の一步として、本年度より正式に組織化をすることにいたしました。

ハッピーも60着揃います。子ども達も力が入ると思っています。9月の嘉川八幡宮秋祭りにはどうぞ皆さん応援に駆けつけ、励ましてあげてください。そして一緒に楽しんでください。



嘉川八幡宮 秋祭り

地域づくり活動事業 平成29年度決算及び30年度予算

◆収入の部

単位(円)

費目	H29決算	摘要	H30予算	摘要
交付金 及び 助成金	12,677,000	山口市地域づくり交付金	12,677,000	山口市地域づくり交付金
	1,098,220	社会福祉協議会、センター活動推進費からの人件費	1,098,220	社会福祉協議会、センター活動推進費からの人件費
	58	預金利息	780	預金利息
合計	13,775,278		13,776,000	

◆支出の部

単位(円)

費目	H29決算	摘要	H30予算	摘要
協議会運営	5,607,372	事務局人件費、事務費	5,573,000	事務局人件費、事務費
地域振興	1,376,784	にこにこ・ワイワイ広場の整備	1,443,000	にこにこ・ワイワイ広場の整備
		あいさつ運動の推進		あいさつ運動の推進
		花いっぱい運動の推進		花いっぱい運動の推進
		遺跡・史跡の継承と郷土学習		遺跡・史跡の継承と郷土学習
		総踊り支援事業		総踊り支援事業
		地域づくり協議会広報事業		地域づくり協議会広報事業
		若者が集える場づくり事業		若者が集える場づくり事業
地域福祉	673,813	健康や生涯スポーツへの支援	690,000	健康や生涯スポーツへの支援
		地域住民の交流や憩いの場づくりの推進・支援		地域住民の交流や憩いの場づくりの推進・支援
		高齢者が安心して生活できる地域づくり		高齢者が安心して生活できる地域づくり
		子育て支援		子育て支援
		福祉に関するボランティア活動の推進・研修会への支援		福祉に関するボランティア活動の推進・研修会への支援
		子どもと高齢者の世代間交流事業の推進と支援		子どもと高齢者の世代間交流事業の推進と支援
安心・安全	1,092,937	地域防災力の充実・強化	820,000	地域防災力の充実・強化
		児童・生徒の登下校時の安全確保等対策		児童・生徒の登下校時の安全確保等対策
		高齢者等交通事故防止の向上		高齢者等交通事故防止の向上
環境づくり	2,468,492	土木工事	4,960,000	土木工事
		土木工事(法定外公共物原材料支給上乘せ)		土木工事(法定外公共物原材料支給上乘せ)
		道路・河川・海岸の清掃活動、地域環境美化活動の推進		道路・河川・海岸の清掃活動、地域環境美化活動の推進
地域個性創出	211,486	地域産品の創出と交流の促進	290,000	地域産品の創出と交流の促進
		古記録・古行事・古写真等の収集と整理・保存		古記録・古行事・古写真等の収集と整理・保存
合計	11,430,884		13,776,000	

収入 13,775,278 – 支出 11,430,884 = 残額 2,344,394 (市へ返納)

地域行事に学ぶ



◎安元

寿代
(福岡)

「母さん、嘉川小学校ってすごいんよ」「そう。何がすごいのか?」「あのね、運動会の競技に7個も出られるよ」。現在34歳になった我が家の長女、小学1年生はマンモス校の小郡小学校、2年生は平成4年新設校としてきた小郡南小学校、そして3年生で嘉川小学校へと3年間で3校の小学校を体験したのです。平成2年に縁あつて歯科医院を開院した関係で、ここ嘉川に居を構えました。その3年後私達家族が、嘉川に引っ越してきたのは、長女が小学3年生、長男が保育園の年長、次男が年少の時でした。

嘉川に引っ越して来てまず驚いたのは、私が住んでいる嘉川の福岡地区は単独で運動会、花火大会が行われていたという事。しかも結構大掛かりに…。

最初戸惑いもありましたが、これらの地区のイベントを通して一気に地域に溶け込めた気がします。核家族の私は、これらのイベントや地域の行事のお陰で近所の年長者の皆さまにたくさんのお話を教えて頂きました。特に、礼儀、気配りなどご近所付き合いをして行く中で自然と身に着いたのではないのでしょうか。個人主義、コミュニケーションが上手くとれない人が多い今

だからこそ、昔ながらの地域行事、イベントをなくすことなく伝承していくことが必要なのかもしれません。私たちが教えてもらった事を今度私たちが若い人たちに伝える。いつまでも私たちの伝統ある良きふるさと嘉川であつてほしいと思います。



山口湾慕情

◎村田 武巳(寄江)

定年が近づいたある年の正月、子どもたちが集まった機会に「ぼつぼつ住む所を決めなければ」と言ったところ、子ども曰く「父さんは転勤で母さんを勝手にひっぱり回したのだから、今度は母さんが決めたらいい」とのこと、彼女の出身地山口県に決まった。

そして思い出したのは、昭和40年の夏、当時広島に居た私は、山口出身の同僚と彼の実家へ一泊し、山口湾藤尾の渡し磯でゴカイ(餌)を

掘り、船で釣りに出た。なんと大型鱧の入れ食い。そして潜れば岩場にサザエがごろごろ、まさに豊饒の海。もう船の免許を取る以外ないと、定年目前に、小型船舶操縦士免許を取得した。

寄江に落ち着き、早速勇んで言った藤尾の渡し。何と遙か沖まで泥の原。引き潮時だったとはいえこれはひどい。もちろんゴカイもいない。すっかり意気消沈。でも、渡し付近には多くの水鳥が飛来し、シーズンともなれば各種の鴨等が湾を埋め尽くした。残念ながら今は激減したが、珍鳥も見られる。中でも、世界に1000羽しか生息していないと言われる(平成16年発行「山口の野鳥」)クロツラヘラサギが最近冬に姿を見せている。また秋には、数万羽(つ)ものヒヨドリの大群が周防大橋の付近を何回も渡る。そして、ハヤブサが群れから外れた鳥を狩る様子が見られ、シーズン中は、県内外から見物の車が後を絶たない。



このように、大自然の営みに直接触れることのできる場所が、この嘉川にあることを嬉しく思っている。

地区で守り続けてきた伝統行事

◎千見折自治会長 藤津 卓司

私たちの地区は残念ながら限界集落ですが、気心の知れた間柄同士の集まり。地区の皆さんは日常の生活を大切に、毎日を送っています。そんな中で昔から守り続けて来た行事の一つが、三神社(住吉神社・熊野神社と肩を並べる社格の神社)の神事です。地区の人たちが、順番で頭屋を務めて、年間5回のお祭りを行います。「みんなで三神社を守り続ける」と言う気持ちで、地区の一体感を感じる源になっていっているのではないのでしょうか。

物事を長く続ける秘訣は、

- ① 最低限のルールを守る
 - ② お互いのほどよい関係
 - ③ 日々の生活の中で心のゆとり、例えば、毎日一分間でもいいから、隣の生活音に耳を傾け「ああ、今日も元気で洗濯をしているなあ、ほっとした」といったことを感じる思いやり
- だと私は思っています。



若い人たちも減り、次第に行事を以前どおりに続けることが難しくなっていますが、みんなで知恵を出し合って、守り続けていくことが、ひいては地区の活性化に繋がると信じています。

交流センター内に
作品展示

嘉川遊陶会

嘉川遊陶会は昭和49年「嘉宝焼同好会」から始まり平成7年「嘉川遊陶会」と改称し現在に至っています。

交流センター建て替えに伴い、市によって、新陶芸窯の設置、作業場の改装をしていただきました。地域活動として、小学生のふるさと学習及び卒業記念絵皿づくりなどのお手伝いをしています。7月には、会員力作の花瓶・花瓶を持ち寄り、花の好きな方に季節の花を生けていただき、交流センターの各所に展示しました。次の陶芸会の取り組みとして、嘉川文化祭に向けて陶作に頑張っています。



♪歌と笑いで地元を元気に!!

◎おじさんズ 朝尾 清美

川西中昭和37年卒の同級生(片山・大田・朝尾)三人組のコミックバンド「おじさんズ」

は、生まれ育ち、お世話になった地元に戻って意味を込めて日々活動しています。音楽の技術レベルはまあまあですが、熱意は最高のおじさん達です。

「歌の散歩道」と銘打って、童謡・唱歌・歌謡曲を、皆さんに大きな声で唄ってもらい、健康で明るく元気に、そして楽しいひと時を過ごしていただくことを願って「出前歌声活動」を推進しています。嘉川元気会・いきいきサロン・介護施設等に出向いて、演奏とお笑いコントを披露しています。結成以来5年が過ぎ、延二百ヶ所を超える集いに参加しました。認知症予防の為に頑張っています。



編集後記

7月の西日本豪雨災害は、想像を超える凄まじさだった。自然の脅威は、半端ない。その上、近年のお天気の様子は、どこに災害の矢を放つか分からない。私たちは、異常気象が普通になったと認識し、自分の住んでいる所の安全確認をし「防災学習と訓練」にはぜひとも参加して、防災意識を高めていこう。「自分の命は、自分で守る」ためにも。